



個票 10 たため池改修時における改変範囲の最小化〔池 2(2)①1-1〕

(2011年作成)

| | | | |
|-------|---|------|--------------------|
| 配慮の視点 | 種の多様性への配慮 | 配慮項目 | 野生生物の生息・生育環境の保全・創出 |
| 配慮事項 | 多様な緑地などの保全・創出 | | |
| 配慮事例 | 生息・生育環境の改変を最小限に留めるルート（または改変範囲の）選定や工法、構造の採用 | | |
| 内容 | <p>●たため池改修時における改変範囲の最小化</p> <p>【解説】 たため池の堤体の草地環境は、長年の草刈り管理によって形成・維持されてきた貴重な環境です。そこには、多種多様な埋土種子や土壌動物が含まれています。堤体の改修にあたっては、このような表土をできるだけ残すことが望まれます。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●改修面積の最小化 改修にあたっては、改変範囲を新樋の築造に必要な部分や漏水部だけの最小限の範囲に留めます。</p> <p>【事例】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【場所】 新潟県中魚沼郡 義ノ窪池</p> <p>【環境配慮の内容と方法、工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 堤体の植生を残した樋門の改修 ・ 堤体表土の移植 </div> | | |
| | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>土の堤体部分を残した樋門の改修</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>樋門改修後1年目の堤体</p> </div> </div> | | |
| 参考資料 | 1 「自然再生：生態学的アプローチ」 亀山章・倉本宣・日置佳之 | | |